

eE-CAD インストール時のウィルス対策ソフト対応について

eE-CAD には e-Board 連動の機能が追加されています。この連動機能をウィルス対策ソフトが検知して使用できなくなる可能性があるため、ウィルス対策ソフトから eE-CAD を監視させないようにする必要があります。

ここでは、現在主に使われている以下の 6 製品の設定方法を記載します。なお、同名のソフトでもバージョンによって操作方法や画面が異なりますが、基本的な設定方法は同じですので、参考にしながら作業を行ってください。

また、この設定を行った後に、eE-CAD と e-Board の連携（ファイル保存など）ができるか確認をお願いします。

以下の 6 つの製品に関する除外方法を掲載しています。

ESET Smart Security

Kaspersky Internet Security

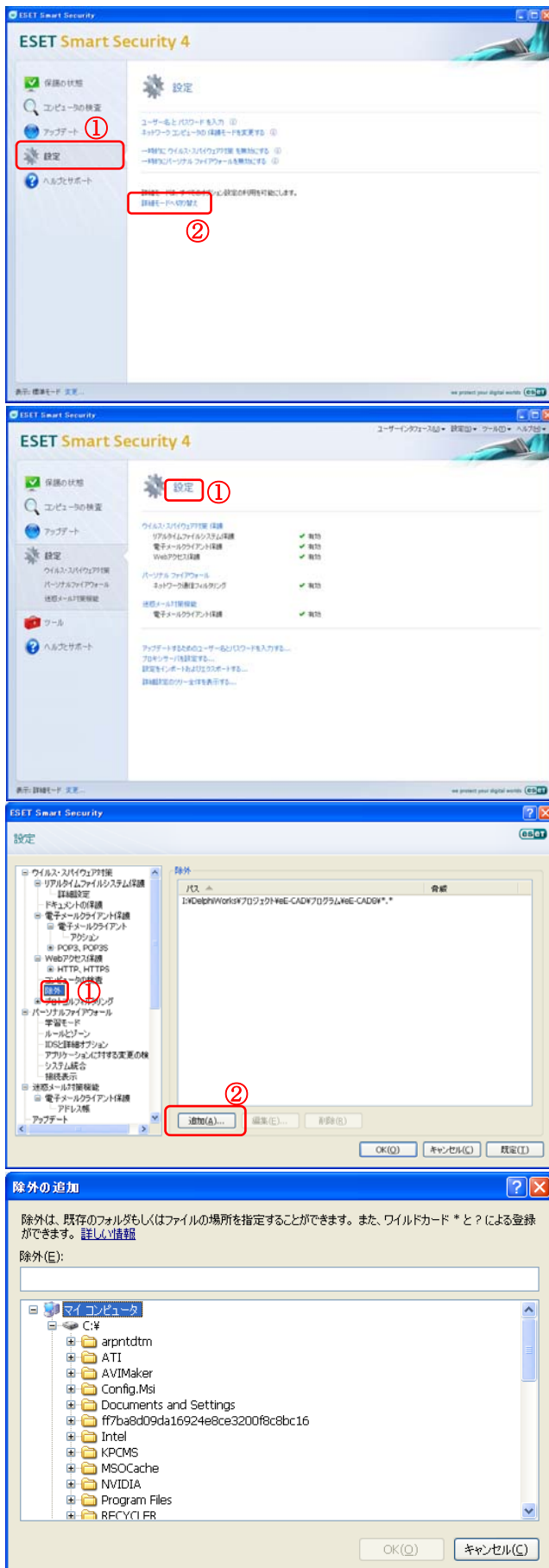
ウイルスバスター クラウド

AVG AntiVirus

Microsoft Security Essentials

avast! Antivirus

ESET Smart Security



1、設定①をクリックした後、詳細モードへ切り替え②をクリックします

2、設定①をクリックしてメニューを開き、「詳細設定」の項目をクリックします。

3、開かれた設定ウィンドウ内の除外①をクリックし、その後追加②をクリックします。

4、除外の追加のウィンドウが開かれます。ファイルの一覧よりeE-CADのインストール先のフォルダを選択(デフォルトでは「C:\Program Files\ESET\ESET Smart Security」)し、OKを押します。

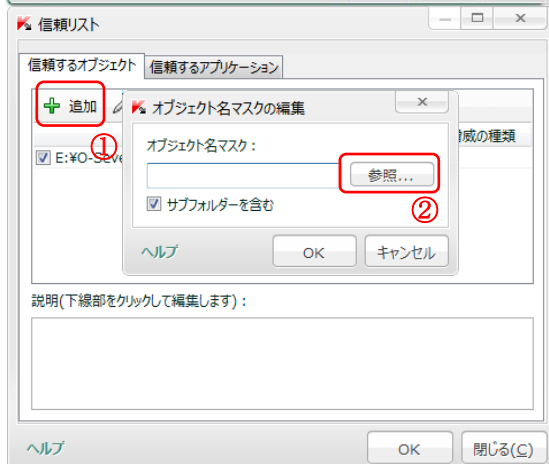
Kaspersky Internet Security



1、設定①をクリックします。



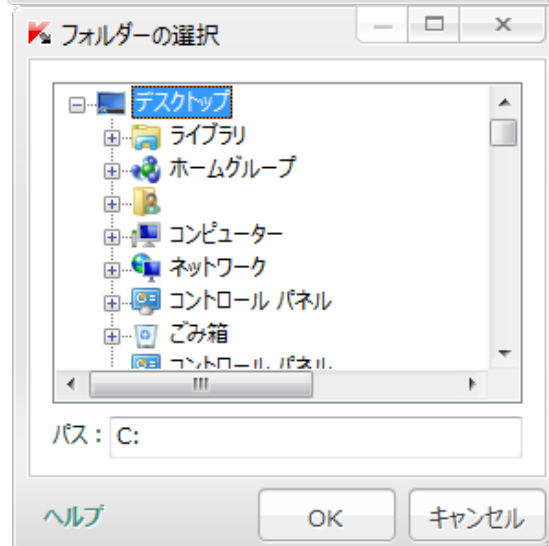
2、フォルダのアイコン①をクリックした後、信頼リスト部分の設定②をクリックします。



3、信頼リストのウィンドウが開かれます。

その中の追加①をクリックし、オブジェクト名マスクの編集のウィンドウを開きます。

参照②をクリックします。



4、フォルダの選択のウィンドウが開かれます。ファイルの一覧よりeE-CADのインストール先のフォルダを選択(デフォルトでは「C:\O-Seven」)し、OK を押します。

2の画面に戻るまでOK を押して行き、最後に適応、もしくはOK をクリックして設定を反映させます。

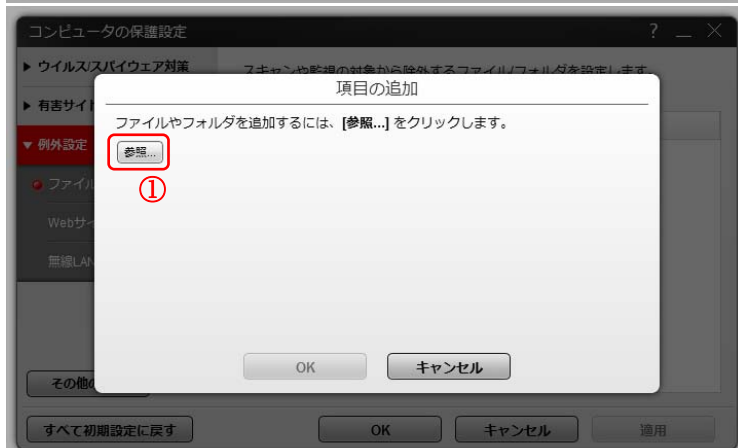
ウイルスバスター クラウド



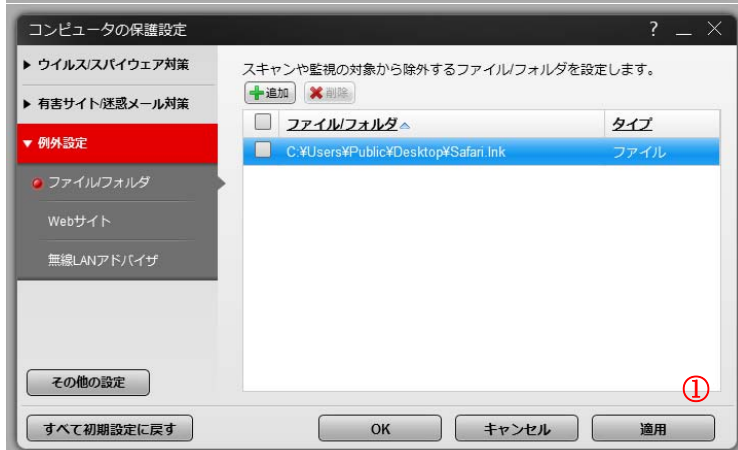
1、コンピュータを守る①をクリックした後にコンピュータの保護設定のアイコン②をクリックします。



2、例外設定①をクリックした後、追加②をクリックします。



3、参照①をクリックした後、ファイルの一覧よりeE-CADのインストール先のフォルダを選択（デフォルトでは「C:\¥O-Seven」）し、OKを押します。



4、最後に適用①、もしくはOKをクリックして設定を反映させます。

AVG AntiVirus



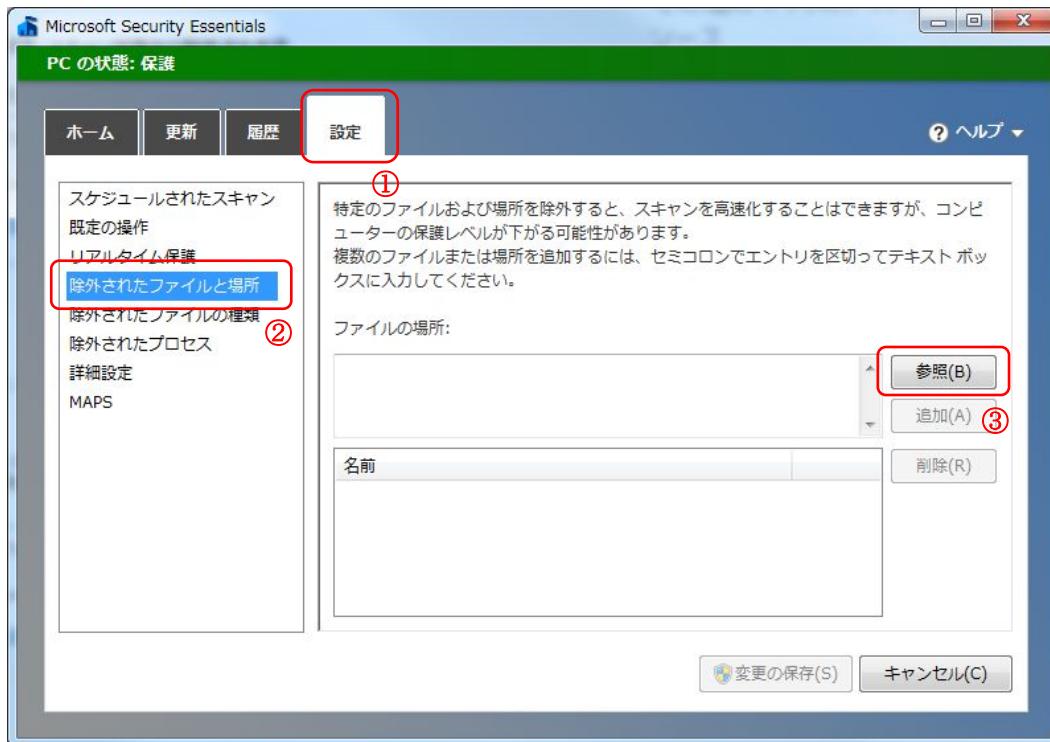
1、オプション(①)をクリックし、メニュー内の高度な設定(②)をクリックします。

2、例外(①)をクリックした後、例外を追加(②)をクリックします。

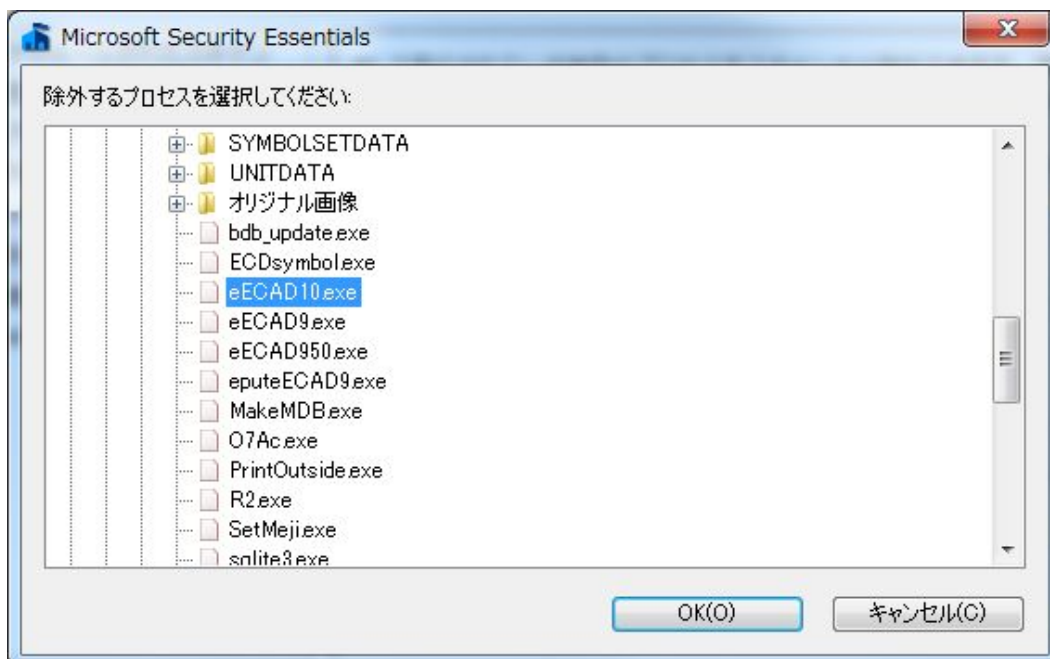
3、例外タイプを選択の中からフォルダ(①)を選択し、OK(②)を押します。

4、参照(①)をクリックし、ファイルの一覧よりeE-CADのインストール先のフォルダを選択(デフォルトでは「C:\¥O-Seven」)し、OKを押します。

Microsoft Security Essentials



1、設定①をクリックし、除外されたファイルと場所をクリック後、参照③をクリックします。

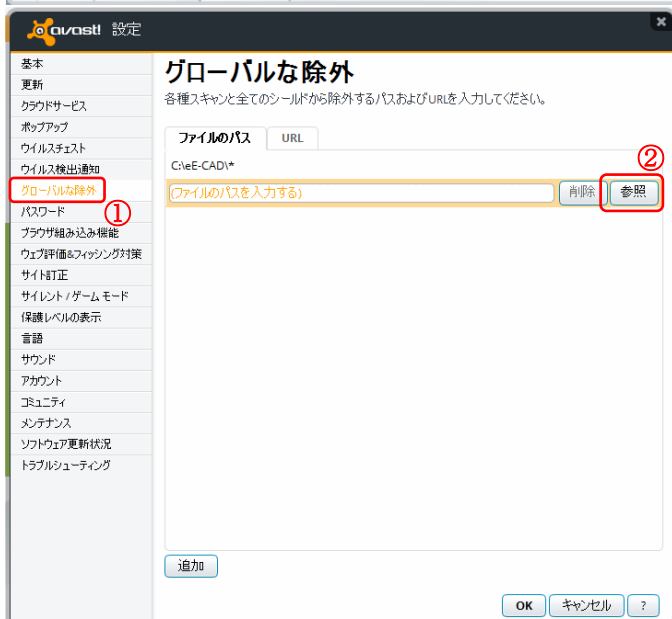


2、ファイルの一覧より eE-CAD のインストール先のフォルダを選択(デフォルトでは「C:\¥O-Seven」)し、OK を押します。その後 1 の画面に戻りますので、変更の保存をクリックし、設定を反映させます。

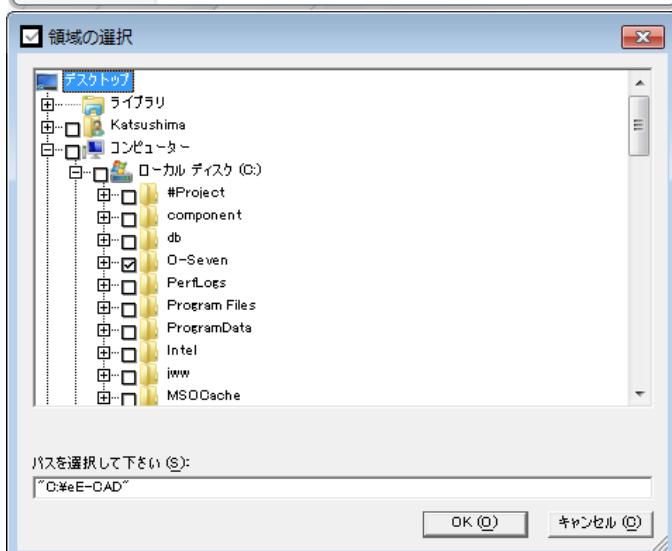
avast! antivirus



1、設定①をクリックします。



2、開かれた設定ウィンドウ内のグローバルな除外①をクリックし、その後参照②をクリックします。



3、一覧より eE-CAD のインストール先のフォルダをチェック(デフォルトでは「C:\Program Files\OSeven」)し、OKを押します。

その後 2 の画面に戻りますので、OKをクリックし、設定を反映させます。